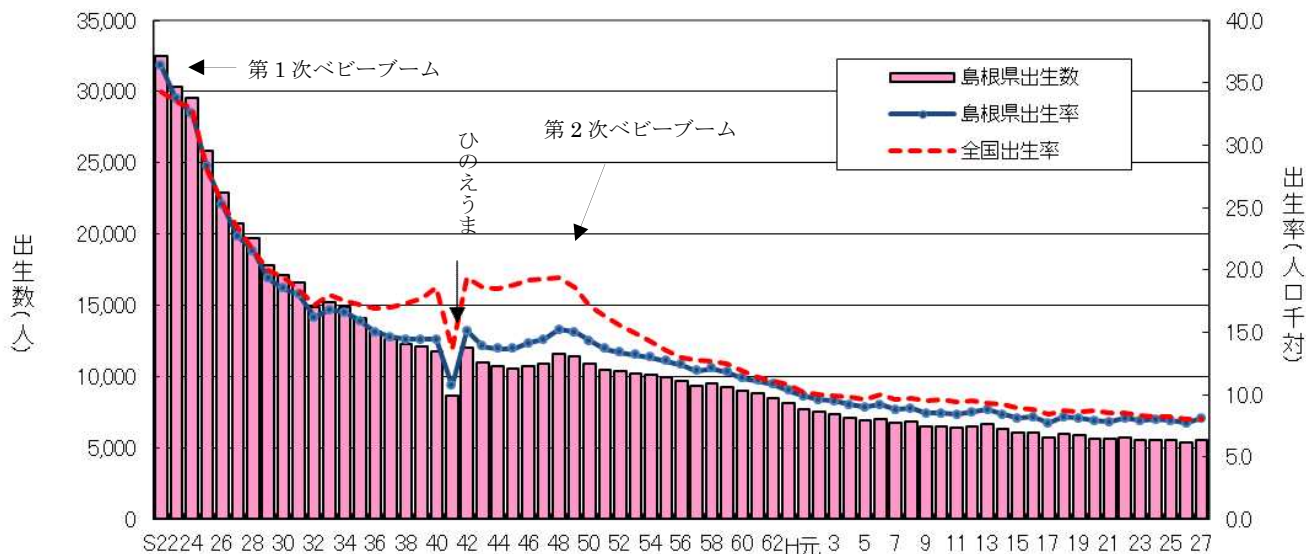


2 出生

(1) 出生数・出生率

平成27年の出生数は5,551人で、前年の5,359人から192人増加し、出生率（人口千対）は8.1（全国第16位）で、前年の7.7を上回った。出生数、出生率ともに昭和46～49年の第2次ベビーブーム以降、ゆるやかな減少傾向が続いている（図1）。

図1 出生数・出生率（人口千対）の年次推移



出生数を母の年齢（5歳階級）別にみると、19歳以下、25～29歳、45～49歳の階級では前年より減少したものの、20～24歳と30代、40～44歳の各階級では増加した（表2）。

表2 母の年齢（5歳階級）別にみた出生数

母の年齢	出生数				対前年増減		
	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	25年－24年	26年－25年	27年－26年
総数	5,585	5,534	5,359	5,551	△ 51	△ 175	192
～14歳	-	-	1	-	-	1	△ 1
15～19	58	62	69	57	4	7	△ 12
20～24	600	524	471	539	△ 76	△ 53	68
25～29	1,687	1,681	1,659	1,542	△ 6	△ 22	△ 117
30～34	1,906	1,961	1,858	1,985	55	△ 103	127
35～39	1,124	1,113	1,055	1,156	△ 11	△ 58	101
40～44	208	190	238	266	△ 18	48	28
45～49	2	3	8	6	1	5	△ 2
50歳以上	-	-	-	-	-	-	-

出生順位別にみると、平成27年は第1子の出生数は減少したが、第2子以上の出生数が増加した（表3）。

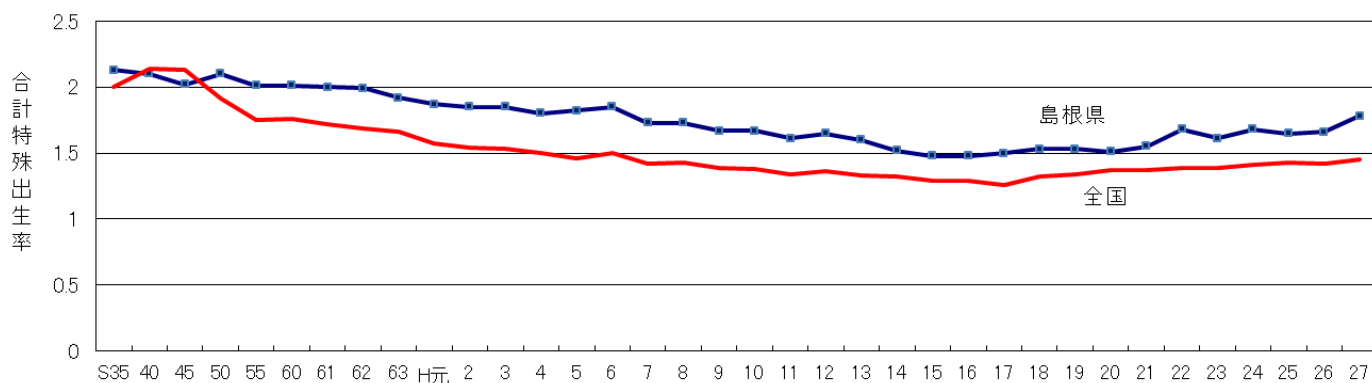
表3 出生順位別にみた出生数の年次推移

出生順位	出生数				対前年増減		
	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	25年－24年	26年－25年	27年－26年
総数	5,585	5,534	5,359	5,551	△ 51	△ 175	192
第1子	2,379	2,331	2,319	2,306	△ 48	△ 12	△ 13
第2子	1,978	1,981	1,940	2,026	3	△ 41	86
第3子以上	1,228	1,222	1,100	1,219	△ 6	△ 122	119

(2) 合計特殊出生率

平成27年の合計特殊出生率は1.78であった。全国と比較すると、昭和50年以降一貫して島根県が上回っており、平成27年の順位は全国第2位である（図2）。

図2 合計特殊出生率の年次推移



○ 算出方法

※1 「(母の年齢別出生数) ÷ (年齢別女性人口)」の15歳から49歳までの合計

※1 (母の年齢別出生数) = (分子) : 「人口動態統計」(厚生労働省)

※2 (年齢別女性人口) = (分母) : 「推計人口」(総務省、ただし、国勢調査年は国勢調査における日本人人口)